

第89回香川県新型コロナウイルス対策本部会議 (持ち回り開催)

日 時：令和4年1月2日（日）

議 題

1. 本県の現状について
2. 本県における今後の対応について

香川県の現状

【11/20～感染予防対策期（レベル0）】

直近 1 週間の 累積新規感染者数		先週 1 週間の 累積新規感染者数	
1月1日現在	12月31日現在	1月1日現在	12月31日現在
6人	3人	0人	0人

1月 累積新規感染者数	12月 累積新規感染者数
1月1日現在	
3人	3人

指 標		1月1日現在	12月31日現在
医療提供体制	①医療のひっ迫具合 (確保病床使用率)	0.8% <small><入院患者2人/病床264床></small>	0.8% <small><入院患者2人/病床264床></small>
	② // (重症確保病床使用率)	0.0% <small><重症者数0人/病床30床></small>	0.0% <small><重症者数0人/病床30床></small>
	③療養者数 (対人口10万人)	0.6人 <small>10万人当たり <6人 [入院2人、宿泊療養等4人] ></small>	0.3人 <small>10万人当たり <3人 [入院2人、宿泊療養等1人] ></small>
感染状況	④直近1週間の累積新規感染者数 (対人口10万人)	0.6人 <small>10万人当たり <直近1週間(12/26~1/1) 6人></small>	0.3人 <small>10万人当たり <直近1週間(12/25~12/31) 3人></small>

感染拡大防止対策期	緊急事態対策期
レベル2	レベル3
20%以上	50%以上
20%以上	50%以上
10万人当たり 20人以上	10万人当たり 40人以上
1週間10万人当たり 15人以上	1週間10万人当たり 30人以上

令和4年1月2日
香川県健康福祉部薬務感染症対策課

新型コロナウイルス感染症（オミクロン株）の患者の発生等について

県内で発生した新型コロナウイルス感染症の患者について、香川県環境保健研究センターでゲノム解析を行ったところ、以下のとおりオミクロン株と確定しました。

1. 患者の状況

No	年代	性別	備考
1	20代	男性	
2	20代	女性	県外滞在歴あり（大阪府）

本情報提供は、感染症予防啓発のために行うものです。報道機関各位におかれましては患者等の個人情報について、プライバシー保護の観点から資料提供の範囲内での報道に、格段の御配慮をお願いいたします。また、医療機関への取材は御遠慮いただきますようお願いいたします。

知事から「感染警戒対策期」における県民の皆さまへのお願い ～引き続き油断せず感染予防を～

昨年12月から、全国各地でオミクロン株等による感染者の漸増が見られるなど、感染拡大傾向にあり、本県においても、本日、先月29日にご報告したデルタ株陰性の検体について、県環境保健研究センターにおいてゲノム解析を行ったところ、オミクロン株の陽性が確定しました。

さらに、昨年11月13日から12月26日までの44日間、新規感染者数ゼロの日が続いておりましたが、昨日までの直近1週間で、6人の感染が確認されました。

本県では、11月20日以降、「感染予防対策期」として、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じつつ、社会経済活動の維持・回復に向けた取組みを行ってまいりましたが、この度の感染状況を受け、香川県対処方針に基づき、1月3日（月）から、対策期を1段階引き上げ、「感染警戒対策期」に移行することとし、感染拡大の防止に努めていくこととします。

感染力が強いと言われているオミクロン株が確認され、今後の感染再拡大につながらないよう十分に留意する必要があることから、県民の皆さまには、これまで以上に、外出の際には油断することなく、適切な感染防止対策を徹底のうえ行動していただきますようお願いするとともに、感染リスクが高い環境にあるなど感染不安を感じる方は、県の登録を受けた医療機関、薬局等において、PCR等の無料検査を受けていただくようお願いいたします。

また、事業者の皆さまには、業種別ガイドラインに基づく感染防止対策を徹底されるよう、また、飲食店の皆さまには、感染拡大防止を図るための「かがわ安心飲食店認証」を積極的に取得されるようお願いいたします。

ワクチン接種については、12月から3回目の追加接種が始まりましたが、1、2回目の接種も可能ですので、未だ接種がお済みでない方は、各市町にお問い合わせいただき、ぜひ早めの予約をお願いしたいと思います。

私としましては、ワクチン接種の進捗や飲食店認証制度の普及などにより、感染者の発生が抑えられ、一日も早く社会経済が回復するよう、国、各市町とも連携し、県民の皆さま、事業者の皆さまと一緒に、全力で取り組んでまいりますので、引き続き、ご理解、ご協力をお願いいたします。

最後に、県民の皆さまに「NO コロナハラスメント」のお願いです。

新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染する恐れがあります。感染者や医療関係者、さらには、その家族などへの差別や偏見、誹謗中傷は決して許されません。また、ワクチンを接種していない人が、ワクチン接種を強制されたり、差別的な扱いを受けることがあってはなりません。県民の皆さまには、正しい情報をもとに冷静な行動をとっていただきますようお願いいたします。

令和4年1月2日

香川県知事 浜田 恵 造

感染警戒対策期における対策 (1月3日以降) について

令和4年1月2日

香 川 県

1 県民への協力依頼等 ①

- 「新しい生活様式」の定着に向け、「三つの密」の回避や「人と人の距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」、「換気」をはじめとした基本的な感染防止策を徹底するよう協力依頼
- 帰省や旅行等、都道府県をまたぐ移動は、「三つの密」の回避を含め、基本的な感染防止策を徹底するよう協力依頼
- 緊急事態措置区域及びまん延防止等重点措置区域への不要不急の移動は、極力控えるよう協力依頼（ワクチン・検査パッケージ制度適用者を除く）
- 外出する場合は、適切な感染防止策を徹底して行動するよう協力依頼

【別添1】：気をつけていただきたいこと

- 発熱等の症状がある場合は、帰省や旅行を控えるよう協力依頼
- 感染に不安を感じる場合は、検査を受けることを協力要請（法第24条第9項）

1 県民への協力依頼等 ②

- 感染対策が徹底されていない飲食店等の利用を控え、「かがわ安心飲食認証店」など、感染対策が徹底された飲食店等を利用するよう協力依頼
- 会食や飲み会をする際には、「マスク会食」や座席間隔の確保、換気などの三密回避を徹底するよう協力依頼
- 業種別ガイドライン等を遵守している施設等を利用するよう協力依頼
【別添2】（省略）：業種別ガイドライン
- 厚生労働省「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」を積極的にインストールするよう協力依頼
【別添3】：新型コロナウイルス接触確認アプリ

※ただし、感染拡大の兆候や施設等におけるクラスターの発生があった合、混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出の自粛に関して速やかに必要な協力要請等を行う。

2 事業者への協力依頼等

- 飲食店における感染拡大防止を図るため、「かがわ安心飲食店認証制度」の認証をとるよう協力依頼
- 業種別ガイドライン等を遵守するよう協力要請（法第24条第9項）
【別添2】（再掲）：業種別ガイドライン
- 県が策定した適切な感染防止策に基づき、感染防止策の徹底を図るよう協力依頼
【別添4】：今後における適切な感染防止策
【別添5】：飲食事業者の皆様へ「店舗等での感染防止策の確実な実践」
- 感染防止策を徹底していることを示す様式を掲示するよう協力依頼
【別添6】：掲示様式「新型コロナウイルスうつらない、うつさない」
- 在宅勤務（テレワーク）、時差出勤、自転車通勤等、人との接触を低減する取組みを推進するよう協力依頼
- 事業所に関係する方が感染した際には、保健所の調査に協力するよう協力依頼

3 イベント等の開催

- イベント等の開催については、国の基本的対処方針やイベント等の開催に係る留意事項（各種通知）等を踏まえ、規模要件等に沿って開催するよう協力要請（法第24条第9項）
また、「新しい生活様式」や業種別ガイドライン等に基づく必要な感染防止策を講じるよう協力依頼

【別添7】：イベント等の開催に係る留意事項

4 県有施設等における対応

- 適切な感染防止策を講じた上で開館

5 県の対応

- 感染事例に関する疫学的調査を積極的に進める。
- PCR検査の充実強化を図る。
- 医療機関、高齢者施設等へ抗原簡易キットを配布する。
- 県の新型コロナウイルス感染症対策予算を速やかに執行する。
- ワクチン接種の円滑な実施に向けて、各市町、医療機関、関係団体等と緊密に連携して取り組む。
- 県職員について、時差出勤や在宅勤務の活用により接触機会の低減に取り組む。

令和 4 年 1 月 2 日
薬務感染症対策課

オミクロン株の県内発生を踏まえた PCR 検査等の受検要請について

オミクロン株の市中感染が県内で確認されたことを受け、陽性者の早期発見、感染拡大防止を図るため、特措法第 24 条第 9 項に基づき、ワクチン接種された方も含め、感染の不安がある無症状の県民の方に検査（無料）を受けるよう要請します。

記

1 対 象 無症状で感染に不安を感じる県民の方

※香川県に在住されている方に限ります。

※ワクチン接種・未接種は問いません。

2 要請期間 令和 4 年 1 月 2 日（日）から 1 月 31 日（月）まで

3 無料検査の流れ

①対象者は県に登録された実施事業者（医療機関、薬局等）へ検査を申込み

②実施事業者では本人確認のうえ、原則対面で無料検査を実施（PCR 検査等、抗原定性検査）

③実施事業者から受検者に対し検査結果通知書を発行

※ 無料検査を行う実施事業者は県の登録を受けた医療機関、薬局等に限定しています。
（県ホームページで公表）

※ 県ホームページで営業時間等を確認のうえ、備考欄に電話連絡が必要とある機関については、事前にお問い合わせください。

※ 施設ごとに受入数の上限があります。

香川県 PCR 等検査無料化事業コールセンター 電話番号 087-822-0836
受付時間 9:00～17:00（年中無休）

新型コロナウイルス感染症に対する香川県対処方針

令和2年 5月15日
 令和2年 8月21日改正
 令和2年 12月 8日改正
 令和3年 1月 8日改正
 令和3年 3月31日改正
 令和3年 4月 3日改正

令和3年 4月19日改正
 令和3年 5月 8日改正
 令和3年 7月 9日改正
 令和3年 11月24日改正
 令和3年 12月10日改正

参考

		(1) 感染予防対策期	(2) 感染警戒対策期	(3) 感染拡大防止対策期	(4) 緊急事態対策期	(5) 非常事態対策期
国の新たなレベル分類		レベル0 感染者ゼロレベル	レベル1 維持すべきレベル	レベル2 警戒を強化すべきレベル	レベル3 対策を強化すべきレベル	レベル4 避けたいレベル
県内の感染状況		新規感染者数ゼロを維持できている状況	安定的に一般医療が確保され、新型コロナウイルス感染症に対し医療が対応できている状況	新規感染者数の増加傾向が見られ、一般医療及び新型コロナウイルス感染症への医療の負荷が生じはじめているが、段階的に対応する病床数を増やすことで、医療が必要な人への適切な対応ができていない状況	一般医療を相当程度制限しなければ、新型コロナウイルス感染症への医療の対応ができず、医療が必要な人への適切な対応ができなくなると判断される状況	一般医療を大きく制限しても、新型コロナウイルス感染症への医療の対応ができていない状況
移行基準	医療提供体制	①確保病床使用率	—	—	20%以上	50%以上
		②重症確保病床使用率	—	—	20%以上	50%以上
		③療養者数 ※ (人口10万人当たり) ※入院者、自宅・宿泊療養者等を合わせた数	—	—	190人程度以上 (20人以上)	380人程度以上 (40人以上)
	感染状況	④直近1週間の累積新規感染者数 (人口10万人当たり)	—	5人程度以上 (0.5人以上)	143人程度以上 (15人以上)	285人程度以上 (30人以上)
○感染の拡大傾向における各対策期の移行にあたっては、医療提供体制、感染状況の①～④の指標等を踏まえ、「予測ツール」を参考にして、総合的に判断。また、移行基準より早めの移行も検討 ○感染の下降局面における各対策期の移行にあたっては、医療提供体制、感染状況が2週間ほど継続して安定的に下降傾向にある場合、①～④の指標等を踏まえ総合的に判断						
対応方針	共通事項	「三つの密」の回避や「人と人の距離の確保」、「マスクの着用」など基本的な感染防止策の徹底、接触確認アプリ（COCOA）のインストール・積極的活用				
	県民への要請等	【法に基づかない協力依頼又は法 24⑨による要請】 ①帰省や旅行等、都道府県をまたぐ移動は「三つの密」の回避等、基本的な感染防止策を徹底 ②緊急事態措置区域及びまん延防止等重点措置区域への不要不急の移動は、極力控える（ワクチン・検査パッケージ制度（VTP）の適用者を除く） ③外出する場合は、適切な感染防止策を徹底して行動 ④発熱等の症状がある場合は、帰省や旅行を控える ⑤業種別ガイドライン等を遵守している施設等を利用	【法 24⑨による要請】 ・(1)(2)の対策の徹底 「まん延防止等重点措置区域」となった場合【法 24⑨又は法 31 の 6②による要請】 ・(1)(2)③④⑤の対策の徹底に加え、混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動の自粛の要請を検討 ・不要不急の都道府県間の移動、特に緊急事態措置区域との往来は極力控えるよう要請することを検討（VTPの適用者を除く） ・時短要請した時間以降、飲食店にみだりに出入りしないよう要請することを検討	「まん延防止等重点措置区域」となった場合 ・(3)「まん延防止等重点措置区域」となった場合の対策と同様 「緊急事態措置区域」となった場合【法 24⑨又は法 45①による要請】 ・(1)(2)③④⑤対策の徹底に加え、混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動の自粛の要請を検討 ・不要不急の帰省や旅行等都道府県間の移動は極力控えるよう要請することを検討（VTPの適用者を除く） ・路上・公園における集団での飲酒等、感染リスクが高い行動の自粛の要請を検討 ・感染対策が徹底されていない飲食店等や休業要請・時短要請に依拠していない飲食店等の利用を厳に控えるよう要請することを検討		
	事業者への要請等	【法に基づかない協力依頼又は法 24⑨による要請】 ・業種別ガイドラインの遵守 ・飲食店における「かがわ安心飲食店認証制度」の認証を取得 ・在宅勤務（テレワーク）、時差出勤、自転車通勤等、人との接触を低減する取組みの推進を働きかけ	【法 24⑨による要請】 ・(1)(2)の対策の徹底 ・感染拡大の傾向が見られる場合、飲食店に対する時短要請を検討 「まん延防止等重点措置区域」となった場合【法 24⑨又は法 31 の 6①等による要請】 ・(1)(2)の対策の強力な推進に加え、在宅勤務（テレワーク）の活用や休暇取得の促進等により出勤者数削減の取組みの推進の働きかけを検討 ・「まん延防止等重点措置」として、飲食店に対する時短要請を検討	「まん延防止等重点措置区域」となった場合 ・(3)「まん延防止等重点措置区域」となった場合の対策と同様 「緊急事態措置区域」となった場合【法 24⑨又は法 45②等による要請】 ・(1)(2)の対策の強力な推進に加え、出勤者数の削減目標を定め、在宅勤務（テレワーク）の活用や休暇取得の促進等の取組みの推進の働きかけを検討 ・「緊急事態措置」として、飲食店に対する時短要請等を検討		
	イベント等の開催	【法に基づかない協力依頼又は法 24⑨による要請】 ・国の基本的対処方針やイベント開催に係る留意事項等を踏まえて設定する、規模要件等に沿って開催 ・業種別ガイドライン等に基づく必要な感染防止策の実践	【法 24⑨による要請】 ・(1)(2)の対策の徹底 「まん延防止等重点措置区域」となった場合【法 24⑨又は法 31 の 6①による要請】 ・(1)(2)の対策の徹底に加え、「まん延防止等重点措置」として、国の方針等を踏まえて設定する規模要件等に沿った開催の要請を検討	「まん延防止等重点措置区域」となった場合 ・(3)「まん延防止等重点措置区域」となった場合の対策と同様 「緊急事態措置区域」となった場合【法 24⑨又は法 45②による要請】 ・(1)(2)の対策の徹底に加え、「緊急事態措置」として、国の方針等を踏まえて設定する規模要件等に沿った開催の要請を検討		
	県有施設等における対応	・適切な感染防止策を講じた上で開館	・(1)(2)の対策の徹底	「まん延防止等重点措置区域」となった場合 ・(1)(2)の対策の徹底に加え、「まん延防止等重点措置」として時短や休館等を検討	「まん延防止等重点措置区域」となった場合 ・(3)「まん延防止等重点措置区域」となった場合の対策と同様 「緊急事態措置区域」となった場合 ・(1)(2)の対策の徹底に加え、「緊急事態措置」として時短や休館等を検討	
○各対策期における措置の実施の要否にあたっては、医療提供体制、感染状況等を総合的に判断。また、対策期ごとに上記以外の対策を講じることも想定 ○他の都道府県において国の緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置が発出された場合は、基本的対処方針や対象区域における対策等を踏まえ、本県の対応を検討						

感染警戒対策期

適切な感染拡大防止策を
徹底して行動を

新型コロナウイルス うつらない、うつさない 気をつけていただきたいこと

飛沫をとばさない

会食時にも、食べるときだけマスクを外し、会話の時はマスクをするなどの工夫が有効です。

マスクの着用を！ 大声で会話しない！

接触感染にも注意を

ウイルスがついた場所に触れた手で、口や鼻などを触ると感染リスクが高まります。

手洗い・消毒を こまめに！

マイクロ飛沫が浮遊

換気が悪い環境では、小さくなった飛沫が長時間空気中を漂います。

適切な換気を！

大人数や長時間の飲食時などには忘れがちになります。

ご協力をお願いします。

自分をまもり、大切な人をまもり、
地域と社会をまもるために、
接触確認アプリをインストールしましょう。

厚生労働省

新型コロナウイルス 接触確認アプリ

(略称：COCOA)

COVID-19 Contact Confirming Application

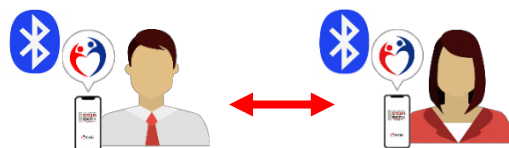


*画面イメージ

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の
感染者と接触した可能性について、通知を受け取る
ことができる、スマートフォンのアプリです

- 本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができるアプリです。
- 利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながる事が期待されます。

1メートル以内、15分以上の接触した可能性



- ・接触に関する記録は、端末の中だけで管理し、外にはできません
- ・どこで、いつ、誰と接触したのかは、互いにわかりません
- ※端末の中のみで接触の情報（ランダムな符号）を記録します
- ※記録は14日経過後に無効となります
- ※連絡先、位置情報など個人が特定される情報は記録しません
- ※ブルートゥースをオフにすると情報を記録しません

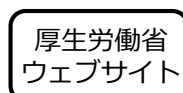
iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



詳しくはこちら



問1 接触確認アプリとは、どのようなものですか。

利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができます。なお、本アプリはApple社とGoogle社が提供しているアプリケーション・プログラミング・インターフェイス(API)を元に開発しています。

問2 アプリを利用することで、どのようなメリットがありますか。

利用者は、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることを期待されます。

問3 他の利用者との接触をどのように記録するのですか。

スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、ほかのスマートフォンとの近接した状態（概ね1メートル以内で15分以上）を接触として検知します。近接した状態の情報は、ご本人のスマートフォンの中のみ暗号化して記録され、14日が経過した後に自動的に無効になります。この記録は、端末から外部に出ることはなく、利用者はアプリを削除することで、いつでも任意に記録を削除できます。

問4 個人情報が収集されることはないですか。

氏名・電話番号・メールアドレスなどの個人の特定につながる情報を入力いただくことはありません。他のスマートフォンとの近接した状態の情報は、暗号化のうえ、ご本人のスマートフォンの中のみ記録され、14日経過した後に自動的に無効になります。行政機関や第三者が接触の記録や個人の情報を利用し、収集することはありません。

問5 位置情報を利用するのですか。

GPSなどの位置情報を利用することはなく、記録することはありません。

問6 他の利用者との接触を検知する目安はありますか。

ご利用のスマートフォン同士が、概ね1メートル以内の距離で15分以上の近接した状態にあった場合、接触として検知される可能性が高くなります。機器の性能や周辺環境（ガラス窓や薄い障壁など）、端末を所持する方向などの条件や状態により、計測する距離や時間に差が生じますので、正確性を保証するものではありません。

問7 利用はいつでも中止できますか。

いつでも任意にアプリの利用を中止し、アプリを削除することで、すべての過去14日間分までの記録を削除できます。

問8 アプリでは、どのような通知がきますか。

新型コロナウイルス感染症の陽性者が、本人の同意のもと、陽性者であることを登録した場合に、その陽性者の感染可能期間で、最大過去14日間に、概ね1メートル以内で15分以上の近接した状態の可能性があった場合に通知されます。通知を受けた後は、アプリの画面に表示される「検査等の相談先を探す」ボタンを押すと、都道府県ごとに受診・相談センター等の連絡先が表示され、そちらにご連絡いただくと検査の受診などが案内されます。

問9 新型コロナウイルス感染症の陽性者がアプリで登録したら通知はすぐにきますか。

利用者への通知は、1日1回程度となっております。アプリへの登録のタイミングによっては、すぐに通知されない場合があります。

問10 新型コロナウイルス感染症の陽性者と診断されましたが、アプリで登録しなかったらどうなりますか。

陽性者と診断された場合に、アプリへの登録は、利用者の同意が前提であり、任意です。登録いただくことで、あなたと接触した可能性がある方が、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。

問11 陽性者との接触の可能性が確認されたとの通知を受けたら、何をすればいいですか。

アプリの画面に表示される「検査等の相談先を探す」ボタンを押すと、都道府県ごとに受診・相談センターなどの連絡先が表示され、そちらにご連絡いただくと検査の受診などが案内されます。

問12 厚生労働省ではアプリで得た情報を何に利用するのですか。

厚生労働省では、アプリにより、利用者のデータを利用し、収集することはありません。利用者に氏名・電話番号などの個人情報を入力いただくこともありません。

今後における適切な感染防止策

別添4

目 的	具 体 的 な 取 組 例
発熱者等の施設への 入場防止	<ul style="list-style-type: none">・従業員の検温・体調確認を行い、37.5度以上や体調不良の従業員の出勤を停止・来訪者の検温・体調確認を行い、37.5度以上や体調不良の来訪者の入場を制限
三つの「密」 (密閉・密集・密接)の防止	<ul style="list-style-type: none">・店舗・施設等利用者の入場制限や一方通行の誘導など行列を作らないための工夫や行列位置の指定を行うなどして列間隔の確保(約2m間隔の確保)、施設内の十分な間隔の確保・換気を行う(可能であれば2つの方向の窓を同時に開ける)・密集する会議の中止(対面による会議を避け、電話会議やビデオ会議を利用)
飛沫感染、接触感染の 防止	<ul style="list-style-type: none">・従業員のマスク着用、手指の消毒、咳エチケット、手洗いの励行・来訪者の入店時等におけるマスク着用、手指の消毒、咳エチケット、手洗いの励行・他人と共用する物品や手が頻繁に触れる箇所を工夫して最低限にする・複数の人の手が触れる扉や共用部など、店舗・事務所内の定期的な消毒・手や口が触れるようなもの(コップ、箸など)は適切に洗浄・消毒・会話時には距離を確保し、対面時にはパーティションを設置するなどして感染を防止・感染防止のための取組や、「三つの密」等を避ける行動を徹底、特に職場での「居場所の切り替わり」(休憩室、更衣室、喫煙室等)に注意

新型コロナウイルス うつらない、うつさない
飲食事業者の皆様へ
店舗等での感染防止策の確実な実践

◎ 「かがわ安心飲食店認証制度」の認証取得を！

◎ 業種別ガイドライン等の徹底を！

- ・ 対人距離の確保（斜め向かいに座るなど）
- ・ パーティションの活用
- ・ 会話の際は、マスクを着用
- ・ 適切な換気

ご協力をお願いします。

イベント等の開催に係る留意事項

【イベント等の開催制限】

	収容率	人数上限
大声なし	100%以内 ※1	5,000人または収容定員50%以内のいずれか大きい方
大声あり	50%以内 ※2	

※1 収容定員が設定されていない場合は、人と人が触れ合わない程度の間隔を空ける。

※2 収容定員が設定されていない場合は、十分な人と人との間隔（できるだけ2m、最低1m）を空ける。

- 収容率と人数上限でどちらか小さい方を限度としてください。

【チェックリストの作成・公表】

- イベント主催者等は、イベントを開催しようとする場合、感染防止策等を記載した「チェックリスト」を作成し、ホームページ等で公表してください。 **【省略】別紙1・参考資料（別紙4）**
- 県にチェックリストを提出する必要はありませんが、イベント終了日から1年間保管してください。
- 感染防止安全計画を策定する場合は、チェックリストを作成する必要はありません。

【感染防止安全計画の策定・提出】

- 人数上限を緩和して、大声なしの5,000人超かつ収容率50%超イベントを開催する場合は、「感染防止安全計画」を策定し、4週間前までに県に提出して確認を受けてください。 **【省略】別紙2・参考資料（別紙4）**
- イベント終了後、1か月以内を目途に、イベント結果報告フォームを提出してください。 **【省略】別紙3**